

1. 内政

(1) デル・アギラ教育大臣に対する国会喚問

7 日、デル・アギラ教育大臣に対する国会喚問が再開した。同大臣に対する国会喚問は、2014 年 3 月 25 日に開始され、1 年以上続いている。

(2) 外交業務法

モラレス外務大臣は、グアテマラの在外公館長の任命を外交キャリアを有する者に限定させるための外交業務法改正をラベ国会議長に対して要請した。現行の外交業務法では、外交経験がなくても在外公館長に就任することができる。

(3) アポステイーユ

グアテマラ国会外交委員会は、ハーグ条約（認証不要条約）の国会承認を目指している旨明らかにした。同条約が批准すれば、アポステイーユによる外国公文書の確認証明が可能となる。

(4) 国民希望党の副大統領候補指名

9 日、国民希望党（UNE）は、製糖企業マグダレナ社のオーナーであるカスティージョ氏を同党の副大統領候補に指名した。カスティージョ氏は、前回の大統領選において、与党愛国党（PP）に資金援助を行い、本年 2 月まで大統領府特命担当長官を務めていた。

(5) 国税庁長官の逮捕

16 日、フランコ国税庁（SAT）長官、ムニョス前国税庁長官他、国税庁職員を含む計 20 名に対して、横領容疑の逮捕状が出された。グアテマラ無処罰問題対策国際委員会（CICIG）及び検察庁の調べによれば、バルデッティ副大統領の私設秘書であるモンソン氏を主犯とする「ラ・リネア」と呼ばれる組織が通関時の脱税及び密輸を幫助していた。逮捕状が出された当時、モンソン秘書は、バルデッティ副大統領と韓国に滞在しており、国際指名手配後は、スペイン、コロンビア、エルサルバドルを経由して逃亡し、現在はホンジュラスに潜伏していると思われる。

(6) リオス元議員の大統領選立候補

16 日、ビジョン原則党（VIVA）は、リオス・モント元大統領の娘であるスリ・リオス元国会議員を同党の大統領候補に指名する旨発表した。

(7) シニバルディ与党大統領候補の離党

19 日、シニバルディ与党愛国党（PP）大統領候補は、同党からの大統領選立候補を辞退すると共に、離党を発表した。離党の理由として、現在の PP は結党時の理念を失っている点及びバルデッティ副大統領の私設秘書を主犯とする政府高官による汚職事件を挙げた。シニバルディ氏は、バルデッティ副大統領による度重なる妨害、ゆすり、サボタージュに苦しめられたと述べ、バルデッティ副大統領を批判した。

(8) グアテマラ無処罰問題対策国際委員会 (CICIG) のマンデート延長

23日、ペレス・モリーナ大統領は、本年9月にマンデートを満了する予定であったグアテマラ無処罰問題対策国際委員会 (CICIG) について、2年間のマンデート延長を国連に要請する旨を発表した。ペレス・モリーナ大統領は、内務省、検察庁、司法機関等の幹部によって構成される「司法近代化委員会」による調査結果を考慮し、CICIG のマンデート延長を決定した旨述べた。なお、20日、潘基文国連事務総長は、「CICIG のマンデート延長申請を支援する準備がある」旨のプレスリリースを発していた。

(9) 選挙キャンペーン資金

最高選挙裁判所 (TSE) は、5月2日から始まる選挙キャンペーンの各党の資金額を発表した。与党愛国党 (PP) は55.9百万ケツアル (約7.4百万米ドル)、野党LIDERは57百万ケツアル (約7.5百万米ドル)、国民希望党 (UNE) は57.1百万ケツアル (約7.5百万米ドル) の資金を投入する。

2. 外交

(1) 在香港グアテマラ通商事務所の開設申請

モラレス外務大臣は、北京を訪問し、中国政府に対して、在香港グアテマラ通商事務所の開設にかかる正式な申請を行った。グアテマラ外務省は、同経済省に対して、開設のための準備を行うよう連絡した。

(2) ペレス・モリーナ大統領のパナマ訪問

11日、ペレス・モリーナ大統領は、パナマで開催された第7回米州首脳会議に出席した。ペレス・モリーナ大統領は、同会議における演説で、麻薬対策、中米北部三角形 (三か国) 繁栄のための同盟、ホンジュラスとの関税同盟等について言及した。一方、グアテマラに対する治安や司法分野への国際支援について、「重要なツールであるが、法治国家及び内政不干渉の原則も重要である。我々の主権を第三者の意思に従属させた状態で、我々の組織を強化することはできない」と述べた。

(3) 関税同盟

10日、ペレス・モリーナ大統領及びエルナンデス・ホンジュラス大統領は、両国のヒト・モノの移動を自由にする「関税同盟」の統合プロセスに関する議定書に署名した。関税同盟は2015年末までに発足することを予定している。

(4) ベリーズとの国境問題

11日、モラレス外務大臣及びエルリントン・ベリーズ外務大臣は、二国間会談を実施し、両国間の国境問題について協議した。会談では、米州機構 (OAS) の支援の下、引き続き両国間の対話を維持する努力を行う旨合意した。モラレス外務大臣は、両国国境問題を国際司法裁判所に付託するための国民投票実施に向け、ベリーズとの対話を継続する旨述べた。

(5) 韓国と中米の経済協定交渉

韓国政府は、数か月以内に、エクアドル及び中米地域と戦略的経済補完協定（SEA）の交渉を開始する予定である旨明らかにした。

3. 経済

（1）聖週間休暇における観光客の増加

観光庁の発表によれば、本年の聖週間休暇における観光客は前年比で 77%増加した。サカテペケス県アンティグア市が主要訪問先であり、3月27日～4月4日の間に 59.8 万人が同市を訪れた。

（2）マヤ博物館建設計画

グアテマラ市において、マヤの歴史や文化に関するコレクションを展示する「マヤ博物館」の建設が計画されている。投資額は 6,000 万米ドルであり、2021 年に完成予定。

（3）企業における女性の活躍

国際労働機関（ILO）の調査によれば、グアテマラの企業における 女性の経営幹部の割合は 44.8%であり、調査対象国 128 か国中第 8 位である。第 1 位はジャマイカで 59.3%、中米地域ではパナマが最も高く、47.4%で第 5 位。なお、日本は 11.1%で第 96 位。

（4）衣類輸出の増加

グアテマラ衣服繊維協会によれば、本年第一四半期の衣類の輸出が前年比で 5%増加した。同協会は、輸出増加の原因として、米国経済の回復及び原油価格の減少によるアパレル産業のダイナミズムの増大を挙げている。

（5）起業数の増加

商業登記所の発表によれば、本年第 1 四半期の法人設立登記は 7,690 件、個人事業主登記は 4,337 件に上り、前年同期比で 22.2%増加した。パイス大統領府競争力・投資担当コミッショナーは、起業数増加は、オンライン登記システム「Minegocio.gt（私のビジネス）」といった法人設立登記にかかる技術的改善の成果であると述べた。

（6）行政センター入札締切りの延期

国家インフラ経済開発パートナーシップ機関（ANADIE）は、4月20日に予定していた行政センター（合同庁舎）建設プロジェクトの事前資格審査（PQ）の申請締切りを 5月26日に延期した。ANADIE は、締切り延期の理由として、海外からの入札参加を呼び込むためと説明した。同プロジェクトの入札プロセスは、本年 6 月末に開始し、同 10 月に開札予定。

（7）CACIF（当国経団連）の新会頭の就任

13日、ブリス商業会議所会頭が CACIF（当国経団連）の新会頭に就任した。ブリス新会頭は、国会で審議中の「投資及び雇用に関する法」について、CACIF に加盟する各経済団体が異なる見解を示しているため、CACIF としての統一見解を出すことができない旨述べた。

（8）セルベセリア・セントロ・アメリカーナ社とハイネケン社の提携

14日、オランダのハイネケン・インターナショナル社は、セルベセリア・セントロ・アメリカーナ社（当国において、「ガジョ」ビール等を製造・販売）に対して、メキシコのビール「Tecate」及び「Carta Blanca」のグアテマラにおける販売権を付与した旨発表した。なお、両社の提携は2009年、セルベセリア・セントロ・アメリカーナ社が当国におけるハイネケンビールの公式販売企業に指名されて以来続いている。

（9）バイオディーゼル車のパイロット事業

グアテマラ市において、米州機構（OAS）及びグアテマラ電力会社（Egasa）の支援により、植物由来のバイオ燃料を使用した自動車のパイロット事業が開始された。

（10）情報通信環境

世界経済フォーラムの報告書によれば、2015年の情報通信環境に関するランキングにおいて、グアテマラは、調査対象国143か国中107位となり、前年の101から順位を落とした。同報告書によると、コスタリカが49位、パナマが51位、エルサルバドルが80位、ホンジュラスが100位、ニカラグア128位と評価されている。

◇主要経済指標◇

	2015年			2014年	2013年
	4月	3月	2月		
インフレ率（前年同月比）	未発表	2.43%	2.44%	2.95%	4.39%
貿易収支（百万ドル）	未発表	未発表	△396.3	△7,473.7	△7,493.1
輸出（百万ドル）	未発表	未発表	896.4	10,805.2	10,024.8
輸入（百万ドル）	未発表	未発表	1,292.7	18,278.9	17,517.9
外貨準備高（百万ドル）	未発表	7,770.3	7,625.4	7,333.4	7,272.6
外国からの送金（百万ドル）	未発表	556.6	431.98	5,544.1	5,105.2
為替レート（対ドル月平均）	7.69	7.63	7.64	7.73	7.86

（出所：中銀、国立統計局）

注）2013年及び2014年の為替レートは年平均

4. 治安・社会

（1）大規模デモの発生

25日、グアテマラ市第1区において、ペレス・モリーナ大統領及びバルデッティ副大統領の退陣を求める大規模デモが発生した。政府高官による汚職事件の摘発により、市民の不満がソーシャル・ネットワーク等を通じて拡散し、グアテマラ市だけでなく、ケツアルテナンゴ県やアルタ・ベラパス県等の地方部においてもデモが発生した。デモは5月にも複数回計画されている。

（了）